

## 福島県地域型復興住宅推進協議会

# 福島環境防災住宅研究会 福島県全域

#### [グループの特徴とメッセージ]

- ●福島環境防災研究会のコンセプトは、災害に強い家づくりです。
- ●地震に強い事は当然として、電気・ガス・水道等のライフラインが遮断された時でも普段と変わらない生活が出来る事です。
- ■太陽光発電と蓄電システムで停電時・日中から夜間でも電気が使えます。
- ●断水して一番困る事はトイレでした。 その問題を解決するために雨水を貯めトイレの排水に使用できるようになっています。
- ●太陽光で電気を創り、雨水を貯めて排水に使う。災害に強い家は環境にもやさしい家と言えます。

#### [地域型復興住宅のイメージと特徴]

#### 住む人の健康を意識した家

- ●生活の場である家で健康を維持できる事が大切です。 国立がんセンターや東大医科付属病院の内装工事で使用されている、 FFC 免疫処理を全棟採用しています。
- ●また有害物質を吸着分解するために酸化チタンと白金を使って窓ガラスを処理しています。 花粉症・アレルギーの方でも症状改善効果が報告されています。



### 住む方が快適に生活できる事を第一に考えた「災害に強い家」

- ●災害時ライフラインが遮断された時でも電気と水を自給出来る家になっています。 太陽光発電で電気を創り蓄電池に蓄電し非常用電源として使用出来ます。
- ●雨水をタンクに貯めトイレの排水に使います。節電や節水にもつながり災害に強い家は環境にもやさしい家と言えます。
- ●ペレットストーブを標準装備にし、暖房も外部エネルギーに頼りません。
- ●耐震性能は最高等級の耐震等級3を取得することで、安心して生活していただけるようになっています。 また福島の冬を暖かく快適に暮らすために発泡ウレタン吹き付け工法を標準仕様とした高気密・高断熱住宅になっています。
- ●長期優良住宅の認定取得、住宅情報履歴の整備、瑕疵保険へ加入をしています。



●災害にも節水にも「雨水利用システム」





●もちろん「長期優良住宅」の基準をクリア

グループの基本情報		地域型復興住宅の主な工法・価格帯	
所在地	伊達市保原町上保原字万所 26 (株)カノウヤ内	主な構造・工法	木造軸組工法
グループ構成	合計 24 社(原木供給/2 社、製材/2 社、建材流通/2 社、プレカット/2 社、設計/3 社、施工/10 社、その他/3 社)	価格帯	1,380~1,880万円
代表者名	樋口静克 (株式会社カノウヤ 代表取締役社長)	価格の基準面積	132 m <sup>2</sup>
主な受賞歴等	・平成 22 年木のいえ整備促進事業採択(実績 14 棟) ・平成 23 年木のいえ整備促進事業採択(実績 19 棟) ・資金セミナー開催(年 3 回)	価格に含まれない 項目	屋外工事費、外構工事費、設計料、諸手続費
連絡窓口	担当:樋口静克 [メール] info@1kanouya.com [電話] <b>024-575-2308</b> [FAX] <b>024-576-2204</b>	*価格は、地域・プラン、仕様によって異なります。 詳しくはお問い合わせください。	
ホームページ	http://www.kanouya3.com/		